

**越境 EC 事業を展開するインアゴーラ、  
SBI ホールディングス、スギホールディングス、信金控股より  
総額 53 億円の資金調達を実施  
～ 同時にスギ薬局および信金控股と業務提携 ～**

インアゴーラ ホールディングス株式会社（代表取締役 CEO：翁 永飜 本社：東京都港区、以下「インアゴーラ」）は、このたび総額 53 億円の資金調達を完了いたしました。

引受先は、SBI ホールディングス株式会社（代表取締役社長：北尾 吉孝 本社：東京都港区） スギホールディングス株式会社（代表取締役会長：杉浦 広一 本社：愛知県大府市、以下「スギホールディングス」）、CITIC グループ傘下の越境投資プラットフォームである信金投資控股有限公司（董事長：胡斌 本社：中国香港、以下「信金控股」）となります。

同時に、インアゴーラは、スギホールディングスの子会社である株式会社スギ薬局（代表取締役社長：杉浦 克典 本社：愛知県大府市、以下「スギ薬局」）および信金控股を通じた CITIC グループ各社と以下内容に基づく業務提携契約を締結しました。

#### ■スギ薬局との業務提携の概要

インアゴーラは、スギ薬局のインバウンド事業の強化を目的に、中国人消費者のニーズおよび消費動向などに関する知見や中国マーケティングにおけるノウハウをスギ薬局に提供し、スギ薬局の日本国内店舗における中国人観光客などの誘致や購入促進、ブランディングをサポートします。

今後、Weibo や WeChat などの中国 SNS や KOL<sup>※</sup>を活用し、情報やコンテンツの企画・制作・発信を行うほか、スギ薬局と共同で、中国人観光客に向けたスギ薬局店舗の品揃え、商品陳列、顧客対応などの企画にも携わります。

また、スギ薬局が展開する越境 EC を担い、中国国内におけるマーケティングおよびブランディングをサポートするとともに、スギ薬局と共同で、インアゴーラが運営する越境 EC アプリ「豌豆公主（ワンドウ）」を通じて中国国内のアーリーアダプターにアプローチします。第一弾として、2020 年春よりスキンケア商品「プリエクラ」を「豌豆公主（ワンドウ）」を通じて、中国のお客様に販売する予定です。 ※：Key Opinion Leader（キーオピニオンリーダー）の略称で、中国の SNS 上で影響力の高いいわゆるインフルエンサーを指します。

#### ■信金控股との業務提携の概要

本提携により、インアゴーラは、金融、エネルギー、小売り、不動産、情報や出版などの事業を傘下に持つ中国国有のコングロマリットである CITIC グループの全面的な協力を得られることとなります。

インアゴーラは、新たな中国人顧客の獲得および販売チャネルの拡大を図り、信金控股を通じた CITIC グループ各社と多様な連携を進め、CITIC グループのお客様に対して「豌豆公主（ワンドウ）」の優待情報の発信や「豌豆公主（ワンドウ）」で取り扱う越境商品の提供、販促キャンペーン、イベントなどの展開を実施します。インアゴーラは、各連携を通じて、CITIC グループの顧客サービスの拡充に貢献できるよう努めます。

なお、インアゴーラは、信金控股の戦略的提携先である河南省政府に属する中原豫資投資控股集团有限公司のサポートを受け、現在インアゴーラが河南省省都の鄭州に構えている中国保税倉庫に関する業務の拡張・改善を図ります。加えて、物流や販売会社など河南省現地企業との提携を進めます。

インアゴーラは、今後もより多くの日本商品を中国のお客様にご紹介し、日本の商品とライフスタイルを楽しんでいただく場の提供に努めます。

# Inagora

## ■Inagora ホールディングス株式会社 概要

本社所在地 : 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ16F  
代表取締役 CEO : 翁 永颯  
URL : <https://inagora.com>

## ■中国消費者向け越境 ECプラットフォーム「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」概要

日本の企業と中国消費者を結ぶため、日本企業が海外進出を検討する際に必ず課題となる「情報の越境」「物流の越境」「決済の越境」のすべてを解決する、ワンストップソリューション型の B to B to C 越境 ECプラットフォームです。日本企業と中国消費者間の文化的ギャップを吸収するため、中国ユーザー向けに商品の翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応、他（多）チャンネル展開などの全工程をインアゴーラが担います。日本の企業はインアゴーラの日本国内倉庫に商品を配送するだけで、国内 EC ショップを 1 店舗追加するよりも簡単に、巨大な中国市場に進出することができます。



## ■越境 EC アプリ「豌豆公主 (ワンドウ)」概要

中国消費者向け日本商品特化型越境 EC ショッピングアプリとして2015年8月のリリース以来、流通総額を急速に伸ばしています。取り扱い商品数は、中国で既に人気のアイテムから中国ユーザーの認知度が低い商品まで約40,000商品（2017年11月時点）で、多岐にわたるカテゴリーの商品を取り揃えています。中国消費者に日本商品や企業ブランドの魅力を伝え、日本のライフスタイルを提案する多角的なコンテンツ（PGC<sup>※1</sup>）やアプリ内の SNS 機能（UGC<sup>※2</sup> = プリンセストーク）を通じて拡散できる点が特徴です。

※1：編集部によるトピックス=企業 HP やブランド紹介ページ、編集部制作の記事・動画コンテンツ等

※2：ユーザーによるコメント=ユーザー口コミ情報、サンプリング結果等